

## エアバッグ類適正処理テスト

問1: エアバッグ類の車上作動処理業務(下図①~⑤)の順番として正しいものを1つ選んでください。

- ① C→D→A→B→E
- ② C→D→A→E→B
- ③ C→A→D→E→B
- ④ C→D→B→A→E

### ① エアバッグ類車上作動処理作業の実施



### ② エアバッグ類の引渡報告

1.8	引渡報告	非認定全部利用者への解体自動車引渡報告
1.9	引渡先確定済車台の一覧	※非認定全部利用者: モーター
1.10	エアバッグ類処理方法の選択	エアバッグ類処理方法の選
1.11	引渡報告	エアバッグ類(取外回収)
1.12	引渡先確定済荷姿の一覧	
1.13	引渡報告	エアバッグ類(車上作動処理)

### ③ 実車でエアバッグ類の有無を確認し、使用済自動車の引取報告を行う



- ・エアバッグ類が装備されているか確認。
- ・引取業者で入力されたエアバッグ類の有無が実車と合っているか確認。



### ④ 車台詳細情報を参考にエアバッグ類がどこにいくつ装備されているか確認



「装備情報」を参考に実車のエアバッグ類の装備位置・個数を確認

1. 車台情報		2. エアバッグ類 装備情報	
車台番号	AA1234567890	車種	軽自動車
車台種別	普通車	エアバッグ類	運転席・助手席
車台状態	正常	エアバッグ類	運転席・助手席・側面
車台色	白	エアバッグ類	運転席・助手席・側面・後部座席
車台年式	2015	エアバッグ類	運転席・助手席・側面・後部座席・天井

### ⑤ エアバッグ類車上作動処理管理台帳への実績記録

No.	① 事務所管理欄 (1)		② 作業場管理欄		確認者	エアバッグ類 取外回収
	車台番号	車名	作動処理 実施日	車上作動方式 要領 一括		
1	AA1234567890	AAAAA	1/5	○	2	現地太郎
2	BB1234567890	BBBBB	1/6	○	4	現地太郎
3	CC1234567890	CCCCC	1/7	○	6	現地太郎
4	DD1234567890	DDDDD	1/8	○	1	現地太郎

問2：事故車の対応について適切なもの1つを選んでください。

- ① 事故車の場合は、すべてのエアバッグ類が作動するので、車台の確認は不要である。
- ② 事故車であっても、すべてのエアバッグ類が作動するわけではないので、車台を確認し未作動のエアバッグ類を処理する必要がある。
- ③ 事故車の場合は、作業中にエアバッグ類が誤作動する恐れがあるので処理しなくて良い。

問3：車台詳細情報の活用方法として不適切なものを1つを選んでください。

- ① 車台詳細情報を印刷しておけば、管理台帳がなくても適正処理したことの証明ができる。
- ② 作業前に車台詳細情報を印刷して、エアバッグ類の装備部位や個数を確認している。
- ③ 現場で車台詳細情報に車上作動処理実績を記入して、事務所に戻ってから管理台帳に転記している。

問4：車台詳細情報にてエアバッグ類の装備情報が「※」になっていた場合の対応について、適切なものを1つを選んでください。

- ① オプションが付いている可能性があるので、実車を確認し、エアバッグ類が装備されていたら処理を行う。
- ② エアバッグ類が装備されていないということなので、何もしなくてよい。
- ③ 「※」はリコール品なので、取外回収する。

問5：エアバッグ類の処理について適切なものを1つを選んでください。

- ① 引取工程ではエアバッグ類「有」で報告されていたが、実車はすべてのエアバッグ類が作動済みだった。その場合は、移動報告の修正は行わず、エアバッグ類の引渡報告（車上作動処理）を実施する。
- ② シートベルトプリテンショナーにはリトラクター部とともにファイナルアンカー部やバックル部にも装備されているものがあり、処理しなければならない。
- ③ 「車台詳細情報」に表示された部位のエアバッグ類のみ処理すればよい。

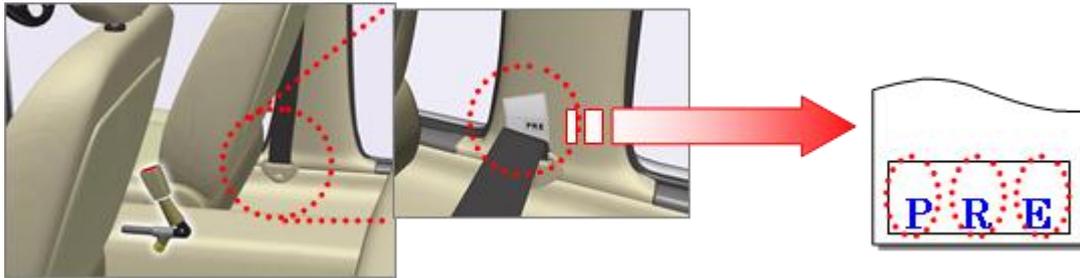
問6：ハーフカット車両のエアバッグ類処理について適切なものを1つを選んでください。

- ① ハーフカットは部品輸出扱いなので、エアバッグ類の処理は行わなくてもよい。
- ② ハーフカットの場合、車両の後ろ半分に装備されたエアバッグ類のみ処理すればよい。
- ③ ハーフカット車両のエアバッグ類は安全上、車上作動処理ではなく、全て取外回収しなければならない。
- ④ ハーフカットする時は、まずエアバッグ類を車上作動処理した後、車両をカットする。

問7：運転席エアバッグ（機械式）とシートベルトプリテンショナー（機械式）の処理として適切なものを1つ選んでください。

- ① 運転席エアバッグ（機械式）は取外回収するが、シートベルトプリテンショナー（機械式）はハンマー等でたたき衝撃を与えることで車上作動処理を行う。
- ② 運転席エアバッグ（機械式）とシートベルトプリテンショナー（機械式）は取外回収する。
- ③ 運転席エアバッグ（機械式）とシートベルトプリテンショナー（機械式）は衝撃をあたえて車上作動処理を行う。

問8：以下のタグに記載されているアルファベットは何を表しているか記入してください。



問9：以下の【 】内に適切な言葉を記入してください。

- ・ガラス等飛散防止対策として車両全体を【 ① 】等で覆う。
- ・通電作業は車両から【 ② 】m以上離れた場所で、車両との間に【 ③ 】を設置する。

問10 エアバッグ類の車上作動処理方法について、適切なものを1つ選んでください。

- ① 通電しても作動しなかったエアバッグ類は、未作動のまま車両を後工程に引渡してもよい。
- ② 通電しても作動しなかったエアバッグ類は、ニブラで潰して作動させてもよい。
- ③ 通電しても作動しなかったエアバッグ類は、取外回収し指定引取場所に引渡す

問11：バックルの作動後の状態として適切なものを1つ選んでください。



問12：エアバッグ類の処理忘れの防止策として有効なものを1つ選んでください。

- ① 引取報告されていない車両であっても、入庫後ただちにエアバッグ類を処理する。
- ② 処理忘れがないか作業員以外の方が再確認する。
- ③ 破砕業者に解体自動車を引渡した後、車台詳細情報でエアバッグ類の装備個数を確認する。
- ④ 処理忘れがあるといけないので、ニブラを使ってインパネやドア周りを押しつぶしている。

問13：車上作動処理後の実績記録として適切なものを1つ選んでください。

- ① エアバッグの処理後、現場で車台番号のみをメモし、移動報告を実施した。
- ② エアバッグの処理後、現場で車台番号や処理個数をメモし、移動報告を実施し、管理台帳を記入した。
- ③ エアバッグの処理後、現場で車台番号や処理個数をメモし、メモを元に管理台帳を記入し、移動報告を実施した。

問14：エアバッグ類の「車上作動管理台帳」の記載方法について適切なものを1つ選んでください。

- ① 管理台帳の「処理個数」欄は、車台詳細情報の装備個数をそのまま転記している。
- ② すべてのエアバッグ類が作動済みの事故車についても、エアバッグ類の引渡報告を行った場合は、管理台帳に引渡報告日を記載している。
- ③ 管理台帳の「処理個数」欄は、実際に車上作動処理した個数を記載している。

問15：以下の行為で自動車リサイクル法違反とならないものを1つ選んでください。

- ① 使用済自動車から取外したエアバッグ類を販売した。
- ② 解体自動車からカーナビを取り外し販売した。
- ③ 車上作動処理していない車台をハーフカットし輸出した。

**以上となります。お疲れ様でした。**